

(1) 地方創生加速化交付金効果検証について

(単位：円)

◆「さっぽろ圏」若者定着促進広域連携事業

事業名	実績額	主な取り組み
地元の企業を知る〔職場見学バスツアー等〕	12,574,911	恵庭の企業のPRと就職促進
チャレンジする〔起業塾の運営、地域資源活用補助等〕	8,801,847	起業塾開催、新規出店補助等
小計	21,376,758	

◆台湾投資家のニーズを踏まえた対恵庭直接投資拡大事業

事業名	実績額	主な取り組み
直接投資に関する事業	25,977,898	投資セミナー・商談会等
地域資源のブラッシュアップ	15,977,120	多言語パンフレット作成、観光イベント等
小計	41,955,018	

◆東京圏まで約100分！恵まれた庭のアクティブライフ事業

事業名	実績額	主な取り組み
移住定住促進事業、CCRC実現に向けた可能性調査	7,337,244	移住相談会の実施、CCRC可能性調査等
協同労働プラットフォーム事業、児童・生徒への学習支援及び食事提供モデル事業	4,447,000	協同労働プラットフォーム事業
小計	11,784,244	

地方創生加速化交付金事業費合計	75,116,020
------------------------	-------------------

(2) 平成28年度地方創生推進交付金効果検証について

◆広域ネットワークによる商品ブランド化プロジェクト事業

事業名	実績額	主な取り組み
広域ネットワークによる商品ブランド化プロジェクト事業	1,490,400	商品ブランド化事業
小計	1,490,400	

◆田園と都市の融合・ガーデンデザインプロジェクト事業

事業名	実績額	主な取り組み
田園と都市の融合・ガーデンデザインプロジェクト事業	1,564,152	市民意識調査、ロゴマーク作成
小計	1,564,152	

H28地方創生推進交付金事業費合計	3,054,552
--------------------------	------------------

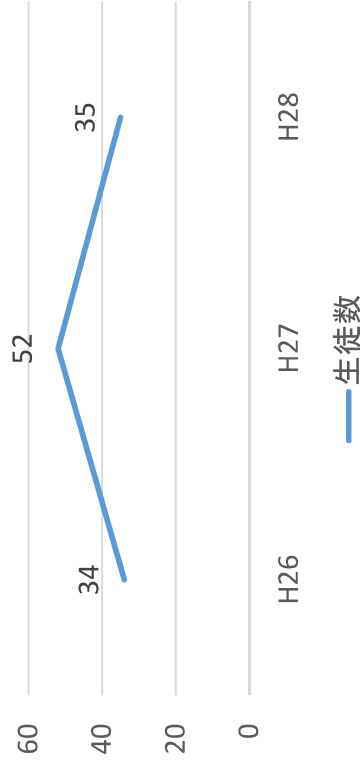
1. 「さっぽろ圏」若者定着促進広域連携事業 ③地元の企業を知る〔職場見学バスツアー、合同企業説明会、企業紹介イベント、セミナー等の開催〕

北海道や近隣市町村と連携し、さっぽろ圏の若者を中心として、地元定住を目的とし、地元の企業を知り、就職に繋げる取組を行った。

関連数値目標・KPI

	KPI実績値 (H28)	KPI目標値
セミナー等による就職決定者数	50名	21名
合同企業説明会による就職決定者数	18名	20名
相談業務による就職決定者数	9名	10名
農商工連携ネットワーク会員	12名	1名

地元大学生、専門学校生の地元就職状況



H27年度からH28年度で若者の地元定着は減少傾向にあり、H28年度から本事業を開始したが、地元定着への必要性が数値的にも示されている

取組事例

恵庭の企業のPRと就職促進

H28.9.10えにわん産業祭を開催

○主な取組

- ・ものづくり企業の製品や技術紹介、農商工連携の取組紹介など、市内産業や企業の活力をPRと地域経済の活性化を目的とする「えにわん産業祭」を開催。

○主な成果

- ・来場者：約5,000人
- ・出展企業・団体：63



就職促進事業

○主な取組

- ・個別職業相談
- ・PC研修付き女性就職支援セミナー
- ・高校生向け就職支援セミナー
- ・企業訪問バスツアー
- ・合同企業就職説明会

○主な成果

- ・セミナー等就職決定者数：50人
- ・合同企業説明会就職決定者数：18人
- ・相談業務就職決定者数：9人



1. 「さっぽろ圏」若者定着促進広域連携事業

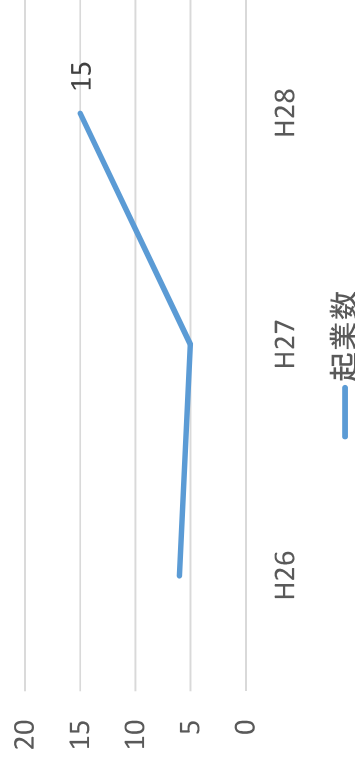
④チャレンジする「起業塾の運営、企業・創業セミナー開催、経営改善相談、経営実態調査、開業補助等」

北海道や近隣市町村と連携し、さっぽろ圏の若者を中心として、地元定住を目的とし、**起業・創業支援**や**経営実態調査**を行った。

関連数値目標・KPI

	KPI実績値 (H28)	KPI目標値
起業件数	15件	5件

起業件数の推移



平成27年度以前については正確な数字を把握できていないが、平成28年度に創業支援事業計画を策定し、総合的な支援を開始したため、起業件数が伸びたものと思われる。

取組事例

起業塾開催、新規出店補助等

起業塾の開催

- 主な取組
 - ・起業に関する専門知識や経験を持った民間団体に補助金を交付し、セミナー等を開催。
- 主な成果
 - ・起業塾参加者：延べ43名参加
 - ・うち4名が起業



経営改善事業

- 主な取組
 - ・市内中小企業の事業承継等、経営上の課題解決を支援するため、ニーズ調査を目的とした実態調査を実施（H28. 8）
- 主な成果
 - ・事業を承継する際の課題として、後継者不足や後継者の人材育成という傾向が判明

新規出店補助

- 主な取組
 - ・新規出店事業者に対し、改装費や広告費の1/2を補助
- 主な成果
 - ・11件補助

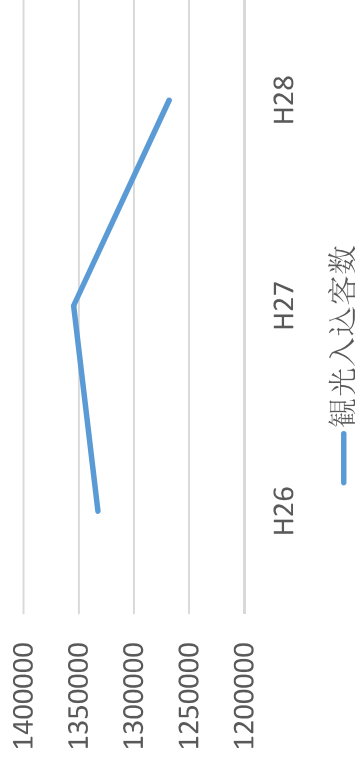
2. 台湾投資家のニーズを踏まえた対恵庭直接投資拡大事業 直接投資に関する事業

台湾からの観光客のニーズに応える商品・サービスを開発し、観光客の増大や投資家のホテル運営などの投資に結びつけることで、地域経済を活性化。

関連数値目標・KPI

	KPI実績値 (H28)	KPI目標値
投資家へのニーズ調査	79件	80件
投資相談件数	31件	30件
台湾観光客の宿泊者数の増	15名	50名
投資促進のための新たな商品開発	103組	50組

観光入込客数の推移



平成28年度は、天候不順などの影響により、観光入込客数が
落込んだ。

取組事例

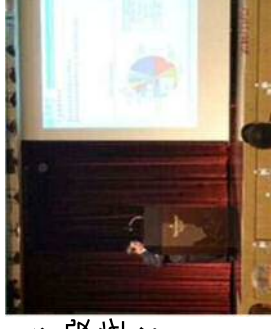
投資セミナー・商談会等

投資家へのプロモーション

- 主な取組
 - ・投資ニーズ調査などの結果に基づき、投資家が求めている情報の発信を行った。
- 主な成果
 - ・個別の見積もりの依頼や、市内観光施設をルートに組み込んだツアーが実施される予定。

投資セミナー・商談会

- 主な取組
 - ・恵庭市の持つ良好な立地条件や観光資源、ビジネスにおける投資先としての可能性などを台湾投資家へアピールし市内経済の活性化を図ることを目的に、台湾台北市において恵庭市単独の投資セミナー等を開催した。
- 主な成果
 - ・個別の見積もり依頼があった。



投資家招聘

- 主な取組
 - ・11月に行ったセミナーに参加した企業からピックアップし、数社を招聘した。市内の観光施設や工場などを視察したほか商談を行った。
- 主な成果
 - ・市内の観光施設をルートに組み込んだツアーが実施される予定。



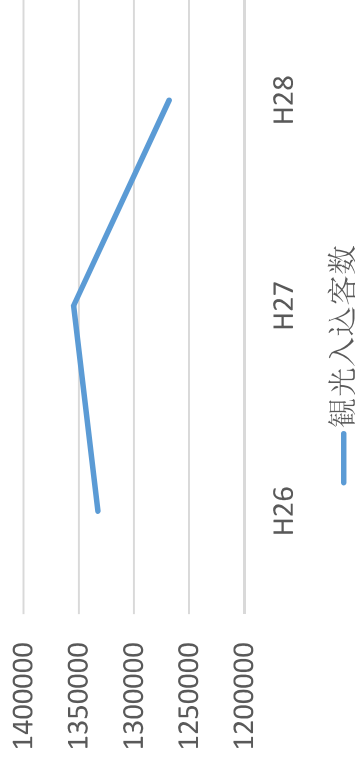
2. 台湾投資家のニーズを踏まえた対恵庭直接投資拡大事業 地域資源のブラッシュアップ

恵庭の特徴である「花」を基本に、オブジェを作成し、観光イベントを開催するとともに、リピーターを増やすべく、多言語パンフレットを作成し配布。

関連数値目標・KPI

	KPI実績値 (H28)	KPI目標値
投資家へのニーズ調査	79件	80件
投資相談件数	31件	30件
台湾観光客の宿泊者数の増	15名	50名
投資促進のための新たな商品開発	103組	50組

観光入込客数の推移



地域資源のブラッシュアップを行ったものの、平成28年度の観光入込客数は、天候不順などの影響により前年度割れとなった。

取組事例

多言語パンフ、観光イベント等

多言語パンフレット等作成

- 主な取組
 - ・多言語パンフレット作成
「はなさんぽ」
- 主な成果
 - ・新千歳空港外国人案内所他へ配置
 - ・招聘事業参加者用資料



地域資源観光イベント事業

- 主な取組
 - ・恵庭溪谷紅葉バスめぐり
10月7・8・9・10日(4日間)
- 主な成果
 - ・市内JR3駅から2ルート4便送迎バス運行。延489名参加



花のオブジェ作成

- 主な取組
 - ・オーブンガーデンのメインエリアである恵み野駅に花のオブジェを設置、市民参加による花壇作成
- 主な成果
 - ・市民等約80名参加



3. 東京圏まで約100分！恵まれた庭のアクティブライフ

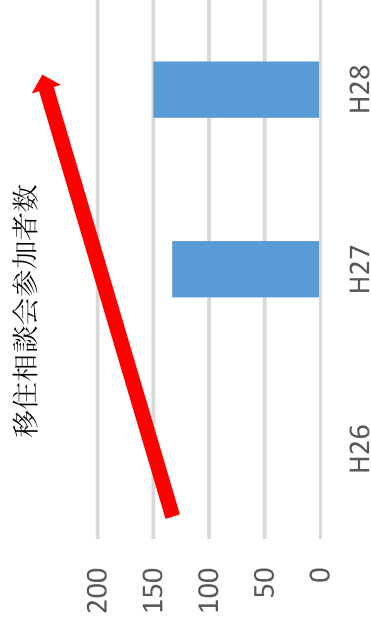
移住定住促進事業、CCRC実現に向けた可能性調査

近隣市町村と連携し、恵庭市内の求人情報の収集発信、戸建て住宅の購入に関するセミナーを行い、移住者を増加させるべく、恵庭市についての情報発信を行った。

関連数値目標・KPI

	KPI実績値 (H28)	KPI目標値
移住ウェブサイトにアクセス数	23,749アクセス	44,000アクセス
移住相談会参加者数	150組	60組
住宅セミナー参加者数	16人	50人

移住相談会参加者数の推移



H27からH28にかけて移住相談会参加者数が増加している。
(H26については移住相談会未実施)

取組事例

移住相談会の実施、CCRC可能性調査実施等

移住相談会の実施

- 主な取組
 - ・本気の移住相談会
 - ・恵庭市単独移住相談会
 - ・北海道暮らしフェア（東京・大阪・名古屋会場）
 - ・さっぽろ圏移住フェア
- 主な成果
 - ・本気の移住相談会：43組が参加（1組移住）
 - ・恵庭市単独移住相談会：12組が参加（1組移住）
 - ・北海道暮らしフェア：82組が参加
 - ・さっぽろ圏移住フェア：13組参加



住宅セミナーの開催

- 主な取組
 - ・札幌周辺に住む子育て世代向けに戸建て住宅の購入・中古住宅について・恵庭市の子育てに関するセミナーを開催
- 主な成果
 - ・16名参加
 - うち6名が恵庭市に住宅を建てる候補地となったと回答



CCRC可能性調査

- 主な取組
 - ・商店街まち歩きツアー
 - ・CCRC可能性調査
- 主な成果
 - ・まち歩きツアー53名参加
 - ・総合戦略・総合計画を進めることがCCRC促進に繋がるという調査結果となった。
 - ・新たに高齢者の就労支援の検討が必要となった。



3. 東京圏まで約100分！恵まれた庭のアクティブライフ 協同労働プラットフォーム事業、児童・生徒への学習支援及び食事提供モデル事業

住民協働による活動の拠点として、「みんなのいえ」を設置し、地域づくりに関する講座の実施や困りごとと相談対応、児童生徒への食事提供、住民同士の仲間づくりなどの活動を行った。

関連数値目標・KPI

	KPI実績値 (H28)	KPI目標値
生活サポーター登録者数	17人	0人

取組事例

協同労働プラットフォーム事業

協同労働プラットフォーム事業

- 主な取組
 - ・住民協働による活動の拠点として、「みんなのいえ」を設置。
 - 地域づくりに関する講座の実施や困りごとと相談対応、住民同士の仲間づくり支援などの活動を行った。

○主な成果

- ・「みんなのいえ」という活動拠点を設置したことにより、様々な困りごとを抱えている人が相談できる場所が生まれ、そこに集まった困りごとを抱えた人同士の仲間作りへと発展。
- また、各種サポーター養成講座を開催し、その中で、困った時にお互いが協力する地域の担い手となる人が生まれました。



児童・生徒への学習支援及び食事提供モデル事業

○主な取組

- ・経済的な理由から塾に通えない、家庭環境から暖かい食事を取る機会の少ない児童生徒を対象に学習と食事等の機会を提供する事業を試行的に実施した。

○主な成果

- ・継続的に事業に参加することにより、子ども達にとっての居場所が確保でき、学習に取組む姿勢や生活習慣の改善が見られた。
- 延べ参加実績 小学生84名 中学生79名
学習支援者61名 食事提供者85名
学生ボランティア27名



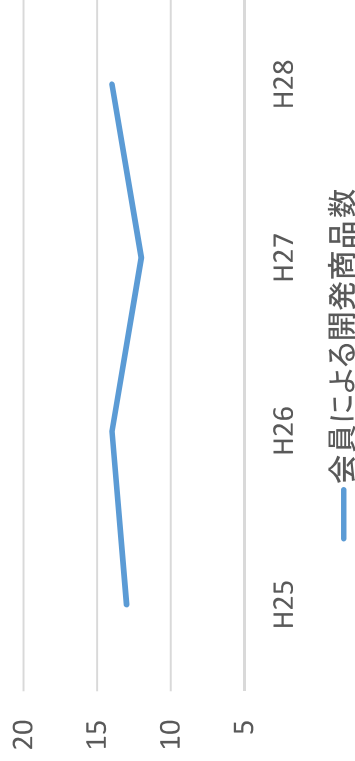
4. 広域ネットワークによる商品ブランド化プロジェクト事業

藤枝市と恵庭市の連携による新たな商品開発・ブランド化を推進するため、両市及び首都圏を対象とした市場調査を行い、売れる商品・ブランドづくりへ繋げる。

関連数値目標・KPI

	KPI実績値 (H28)	KPI目標値
農商工連携製品販売額	1,090千円	1,000千円
企業の引き合わせ(マッチング) 件数	0件	0件
新規雇用人数	0人	0人

商品開発数の推移



H25年に農商工連携ネットワークが設立し、毎年市内の事業者や生産者の連携による商品や地域の特産品を使用した商品が10点以上開発されている

取組事例

商品ブランド化事業

藤枝市・恵庭市合同産業界交流事業 マーケティング調査

○主な取組

- ・藤枝市と連携した企業マッチング・商品開発を行うにあたり、新たな商品開発やブランド化を推進するためのデータを得るため、基礎調査を実施。
- ・消費者へのアンケート調査

対象：恵庭市370名、藤枝市370名、首都圏500名

- ・事業者、生産者へのアンケート調査

対象：恵庭市408件、藤枝市474件

持っている商品・生産物や技術、両市の事業者・生産者との連携への興味、両市の特産品で興味のあるものなどを調査

○主な成果

- ・消費者

回答数

恵庭市20代以上313名 60～80代79名

藤枝市20代以上306名 60～80代73名

首都圏520名

- ・事業者

恵庭市回答数146件

うち連携に興味有り

事業者33件、生産者18件

藤枝市回答数114件

うち連携に興味有り

事業者39件、生産者18件



5. 田園と都市の融合・ガーデンデザインプロジェクト

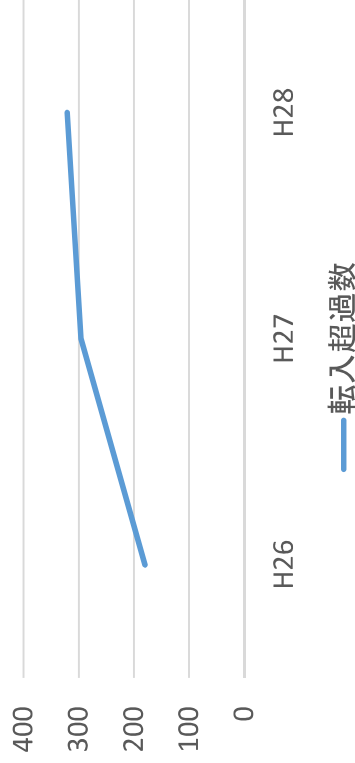
～恵まれた庭のコンパクトなまちづくりへの挑戦

市民を対象とした花のまちづくりに関するアンケート調査及びオープンガーデンの公式ロゴマーク作成を行った。

関連数値目標・KPI

	KPI実績値 (H28)	KPI目標値
観光入込客数	27,439人	△64,602人
複合施設利用者数	19,632人	2,917人
転入超過数(転入者-転出者数)	321人	156人

転入超過数(転入者-転出者数)の推移



近年の宅地造成により順調に転入者が増え、転入超過が続いている。

取組事例

市民意識調査、ロゴマーク作成

ガーデンデザインプロジェクト

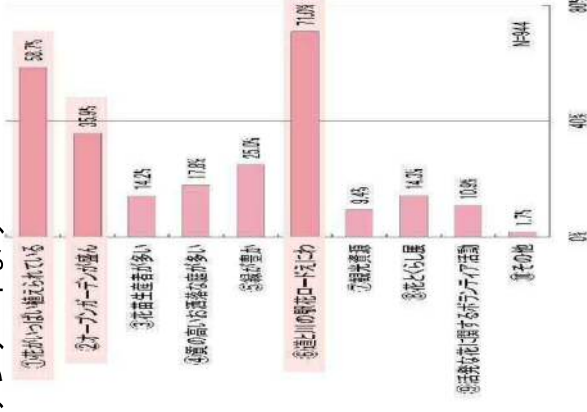
○主な取組

- ・市民2000人に対し花のまちづくりに関するアンケート調査を実施
- ・来訪者にわかりやすいオープンガーデンのロゴマークを作成

○主な成果

- ・アンケート回収率47.2パーセント
- ・ガーデンナー15世帯にロゴマークを配したプレート配布

「花のまちづくりのイメージ」アンケートより



ロゴマーク



地方創生加速化交付金に係る事業実施結果報告
(各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

H29.6.28(水)
恵庭創生懇談会資料
恵庭市企画課

「さっぽろ圏」若者定着促進広域連携事業

No	① 交付対象事業の名称	② 事業概要	③ 実績額 単位：円	④ 本事業における重要業績評価指標(KPI)			⑤ 本事業終了後における実績値		⑥ 外部有識者からの評価(案)		⑦ 実績値を踏まえた事業の今後について	
				指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	事業の評価(案)		外部有識者からの意見
1	③地元企業を知る「職場見学ハズツアー」、合同企業説明会、企業紹介イベント、セミナー等の開催	ものづくりに関する企業紹介、農工商等連携の取組紹介など、市内産業や企業の活性化をPRと地域経済の活性化を目的とする「えにわん産業祭り」を開催する。 H28.9.10「えにわん産業祭り」を開催。 (来場者：約5,000人、出席企業、団体：63) 市内内外よりたくさんの方々が来場があり、企業や製品・技術力、農工商等連携の取組を知り、市内内外に広く認知できた。アンケートから、ものづくりに関する企業紹介の取組を知ることができたこと回答している。就労促進事業～働く意欲や能力のある求職者を対象に、職業相談、就職活動の手法等を身につけるセミナー及び、保護者等求職者を取り巻く人々を対象とした求職者との関わり方をテーマとしたセミナーの開催。又、市内企業を身近に感じ、就職促進および職場への定着を目的としたハズツアーの実施、幅広い職種への求職者への提供と企業の求人業務効率化を目的とした合同企業説明会を兼ねたセミナーの一環として実施することにより、効果的に就労支援を行う。	12,574,911	指標①	21	名	H29.3	50	総合戦略のKPI達成に有効であった	KPIもほぼ目標どおり達成しており、地方創生に非常に効果的であったため。		
				指標②	20	名	H29.3	18				
				指標③	10	名	H29.3	9			地方創生に非常に効果的であった	
				指標④	1	名	H29.3	12				
				指標⑤								
2	④チャレンジする「起業塾」の運営、企業・創業セミナー開催、経営改善相談、経営実態調査等	【起業塾の開催、創業支援】 市内在住または通勤・通学している30才以下の世代(移住予定学生を含む)に対して、起業関係者や金融機関、高等教育機関と連携し、起業塾を開催。(計7回実施) 【起業育成補助金】 起業に関する専門知識や経験を持った民間団体に補助金交付やセミナーを提供する。 起業塾を実施(H28.9.24名参加、H28.11.19名参加) →参加者のうち4名が起業した。 【経営改善事業】 市内中小企業の事業承継等、経営上の課題解決を支援するため、ニーズ把握を目的とする実態調査を実施する。 市内中小企業に向けて実態調査を実施(H28.8) 調査結果から、事業を承継する際の課題としては、後継者不足や後継者の人材育成という傾向が判明した。	4,106,847	指標①	5	件	H29.3	15	総合戦略のKPI達成に有効であった	KPIを想定以上に達成しており、地方創生に非常に効果的であったため。		
				指標②								
				指標③								地方創生に非常に効果的であった
				指標④								
				指標⑤								
3	④チャレンジする「地域資源を活用した飲食、物販店の創業」する事業者に対し、改装費、広告費の2分の1補助)	【新規出店補助金】 新規出店事業者に対し、補助金を交付する。 補助金交付実績(10件) 当初の申込みの5件と比べ、実績では10件と増加している。起業に対する補助金のニーズが向える結果となった。	4,695,000	指標①	5	件	H29.3	15	総合戦略のKPI達成に有効であった	KPIを想定以上に達成しており、地方創生に非常に効果的であったため。		
				指標②								
				指標③								地方創生に非常に効果的であった
				指標④								
				指標⑤								

地方創生加速化交付金に係る事業実施結果報告
(各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

H29.6.28(水)
東証創生懇談会資料
恵庭市企画課

台湾投資家のニーズを踏まえた対惠庭投資拡大事業

No	① 交付対象事業の名称	② 事業概要	③ 実績額 単位:円	④ 本事業における重要業績評価指標(KPI)					⑤ 本事業終了後における実績値		⑥ 外部有識者からの評価(案)		⑦ 実績値を踏まえた事業の今後について
				指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	事業の評価(案)	外部有識者からの意見	今後の方針	
1	直接投資に関する事業	台湾投資家のニーズを踏まえた対惠庭投資拡大事業のうち、直接投資に関する事業について、台湾からの観光客のニーズに応える商品・サービスを開発し、観光客の増大や投資家のホテル運営などの投資に結びつけることで、地域経済の活性化を図るもの。 具体的な実施内容は以下のとおり。 投資ニーズ調査、投資家へのプロモーション、投資セミナー・商談会の実施、多言語職員の配置による海外からの問い合わせ対応、など	25,977,888	指標①	投資家へのニーズ調査	80	件	H29.3	79	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった	KPIもほぼ目標どおり達成しており、地方創生に非常に効果的であったため。	
				指標②	投資相談件数	30	件	H29.3	31				
				指標③	台湾観光客の宿泊客数の増	50	名	H29.3	15				
				指標④	投資促進のための新たな商品開発	50	組	H29.3	103				
				指標⑤									
2	地域資源のブラッシュアップ	【多言語パンフレット等作成】 外国人旅行者(主に中国人)増に向けて、パンフレットを作成。 【地域資源観光イベント事業】 【花のオブジェ作成事業】	15,977,120	指標①						総合戦略のKPI達成に有効であった			
				指標②									
				指標③									
				指標④									
				指標⑤									

地方創生加速化交付金に係る事業実施結果報告
(各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

H29.6.28(水)
車庫創生懇談会資料
恵庭市企画課

東京圏まで約100分！ 恵まれた庭のアクティブライフ事業費

No	① 交付対象事業の名称	② 事業概要	③ 実績額 単位：円	④ 本事業における重要業績評価指標(KPI)					⑤ 本事業終了後における実績値		⑥ 外部有識者からの評価(案)		⑦ 実績値を踏まえた事業の今後について
				指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	事業の評価(案)	外部有識者からの意見	今後の方針	
1	移住定住促進事業	恵庭市への移住の相談会として北海道暮らしフェア(東京・大阪・名古屋会場)、さっぽろ圏移住フェアに参加。 ※北海道移住促進協議会負担金含む また、恵庭市移住定住サイトの運営管理や恵庭市内の求人情報の収集発信、戸建て住宅の購入に関するセミナーを行ない、市外の方に向けた恵庭市についての情報発信等を行った。	4,345,644	指標①	44,000	アクセス	H29.3	23,749	総合戦略のKPI達成に有効であった	総合戦略のKPI達成に有効であった	5年間で20母事以上の移住が確認でき、人口増加に寄与したため。		
				指標②	60	組	H29.3	150					
				指標③	50	人	H29.3	16				地方創生に相当程度効果があった	
				指標④									
				指標⑤									
2	児童・生徒への学習支援及び食事提供モデル事業	経済的理由から塾に通えない、家庭的な環境の中で食事をする機会の少ない子どもたちに対し、学習や食事を提供する事業を市民活動団体に委託してモデル的に実施した。	1,016,000	指標①					総合戦略のKPI達成に有効であった	総合戦略のKPI達成に有効であった	平成28年度に2箇所で開催し、効果が認められたことから、平成29年度から3箇所へ増設し実施。		
				指標②									
				指標③								地方創生に非常に効果的であった	
				指標④									
				指標⑤									
3	CCRC実現に向けた可能性調査	まちを知り、健康を促進させる商店街まち歩きツアーを実施するとともに、恵庭市におけるCCRCの実現可能性を調査し、報告書と取りまとめた。	2,991,600	指標①					総合戦略のKPI達成に有効であった	総合戦略のKPI達成に有効であった	調査結果から高齢者の消費拡大に向けた健康ポイント制度や就労促進が必要と判断されたため。		
				指標②									
				指標③								地方創生に効果があった	
				指標④									
				指標⑤									
4	協同労働プラットフォーム事業	住民協働による活動の拠点として、「みんなのいえ」を設置し、地域づくりに関する講座の実施や困りごと相談対応、住民同士の仲間づくり支援などの活動を行った。	3,431,000	指標①			H29.3	17	総合戦略のKPI達成に有効であった	総合戦略のKPI達成に有効であった	高齢者の生きがいづくりに相当程度寄与されることがわかったため、交付金の範囲内で実施を継続するため。		
				指標②									
				指標③								地方創生に非常に効果的であった	
				指標④									
				指標⑤									

地方創生推進交付金に係る事業実施結果報告
(各交付対象事業の重要業績評価指標 (KPI) の実績値等)

H29.6.28(水)
専任創生懇談会資料
恵庭市企画課

広域ネットワークによる商品ブランド化プロジェクト事業

No	① 交付対象事業の名称	② 事業概要	③ 実績額 単位：円	④ 本事業における重要業績評価指標 (KPI)				⑤ 本事業終了後における実績値		⑥ 外部有識者からの評価(案)		⑦ 実績値を踏まえた事業の今後について	
				指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	事業の評価(案)	外部有識者からの意見		今後の方針
1	広域ネットワークによる商品ブランド化プロジェクト事業	<p>藤枝市と恵庭市の連携による新たな商品開発・ブランド化を推進するため、両市及び首長層を対象とした市場調査を行い、それぞれニーズを把握することにより、売れる商品・ブランドづくりへつなげる。両市の生産者・事業者を調査し、情報を集約することで、そのデータを活用して新たな連携体の創出へつなげる。</p>	1,490,400	指標①	農工商連携製品販売額	1,000	千円	H29.3	1,090			<p>追加等更に発展させる</p> <p>3か年計画で事業実施内容を見直しながら実施させていくこととしているため。</p>	
				指標②	企業の引き合わせ(マッチング)件数	0	件	H29.3	0				
				指標③	新規雇用人数	0	人	H29.3	0	地方創生に相当程度効果があつた	総合戦略のKPI達成に有効であつた		
				指標④									
				指標⑤									

地方創生推進交付金に係る事業実施結果報告
(各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

H29.6.28(水)
恵庭創生懇談会資料
恵庭市企画課

田園と都市の融合・ガーデンデザインプロジェクト～恵まれた庭のコンパウンドなまちづくりへの挑戦

No	① 交付対象事業の名称	② 事業概要	③ 実績額 単位:円	④ 本事業における重要業績評価指標(KPI)				⑤ 本事業終了後における実績値		⑥ 外部有識者からの評価(案)		⑦ 実績値を踏まえた事業の今後について
				指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	事業の評価(案)	外部有識者からの意見	
1	田園と都市の融合・ガーデンデザインプロジェクト	花のおもてなしによるまちづくり市民意識調査及びオープンガーデンロゴマーク作成委託 (市民を対象とした、花のまちづくりに関するアンケート調査およびオープンガーデンの公式ロゴマーク作成)	1,564,152	指標①	観光入込客数(最終目標50万人)	27,439	人	H29.3	-64,602	地方創生に相当程度効果があつた	総合戦略のKPI達成に有効であつた	5か年計画で事業実施内容を見直しながら実施させていくこととしているため。
				指標②	複合施設利用者数(最終目標1万人)	2,917	人	H29.3	19,632			
				指標③	転入超過数(転入者-転出者数)	156	人	H29.3	321			
				指標④								
				指標⑤								

(3) 平成29年度地方創生推進交付金採択状況について

一億総活躍社会の実現に向けて、ローカルアベノミクスの推進を通じた地域の付加価値創造力強化のため、緊急に実施すべき対策として、まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置付けられた先駆性のある取り組みの円滑な実施のため「地方創生推進交付金」が平成28年度に創設されたことから、恵庭市においても恵庭市総合戦略に基づき、人口減少や少子高齢化が進む社会情勢においても高い持続性を確保できるよう下記のとおり事業を実施します。

(単位：千円)

◆田園と都市の融合・ガーデンデザインプロジェクト～恵まれた庭のコンパクトなまちづくりへの挑戦

事業名	事業費	説明(主な内容)
子どもの生活・学習支援事業	3,000	恵庭地区、柏地区
花の拠点整備事業	10,000	センターハウス改修設計
花観光推進事業	14,000	コミュニティガーデン作成、シンポジウム、花のまちづくりプラン改定、オープンガーデン等バスツアー
移住促進事業	5,000	ウェブサイト、就職・不動産情報、移住フェア・相談会、PR、移住後のフォローアップ、オーダーメイドツアー
小計	32,000	

◆広域ネットワークによる農商工連携推進プロジェクト(藤枝市との連携)

事業名	事業費	説明(主な内容)
広域ネットワークによる商品ブランド化プロジェクト事業	15,800	連携商品ロゴ製作、産業PRイベント、6次産業化推進協議会負担金、新商品開発補助金等
小計	15,800	

◆「さっぽろ圏」若者定着広域連携推進事業(北海道、近隣市町との連携事業)

事業名	事業費	説明(主な内容)
就職促進事業	4,000	合同企業説明会、高校生向け就職支援セミナー、女性向け就職応援セミナー、相談業務
起業家支援事業	834	起業支援・事業承継支援相談、起業塾
小計	4,834	

◆修学教育旅行・修学旅行等の学生の受け入れを核とした将来の対恵庭観光・投資拡大推進事業

事業名	事業費	説明(主な内容)
修学教育旅行・修学旅行等の学生の受け入れを核とした将来の対恵庭観光・投資拡大推進事業	28,632	教育・修学旅行ツアー作成、広告・宣伝、マッチング、多言語職員配置等
小計	28,632	

地方創生推進交付金事業費合計	81,266
-----------------------	---------------

恵庭市における CCRC 実現に向けた可能性調査及び方針（案）について

1. 調査目的

人口減少や少子高齢化が進む社会情勢においても持続可能なまちを目指し、恵庭市総合戦略で位置づけられた「生涯活躍のまち（恵庭版 CCRC の検討）」実現の可能性や課題を検討するものである

2. 調査の概要

別紙概要報告書 参照

3. 恵庭版 CCRC の方針（案）

- ・可能性検討から推進方針をまとめた結果、推進方針で記載した内容のほとんどは、第5期恵庭市総合計画または恵庭市総合戦略の施策で概ね網羅されている。
- ・よって第5期恵庭市総合計画及び恵庭市総合戦略を実施することで、アクティブシニア(元気な高齢者、ここでは概ね 50 歳以上)も含めた全世帯に対する CCRC（生涯活躍のまち）を推進することになる。

《新たな検討施策》

- ①「高齢者の消費拡大と健康長寿の両立に向けた健康ポイント制度の拡充」
- ②「高齢社会の進展による消費支出の縮小に対応した、高齢者向けの就業情報の提供やサービス拡充への転換の促進」



庁内の関係部署で検討し、恵庭市総合戦略に新たな項目で掲載するなど、

CCRC 推進へ向けた取り組みを進める

（参考）窓口移住相談者数

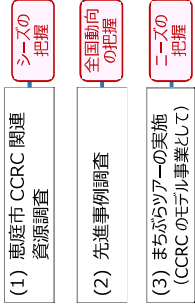
<H28 年度>

- ・窓口移住相談者数 60 件（うち移住者数⇒6 件）

恵庭市における CCRC 実現に向けた可能性調査委託業務（概要報告書）

1. 検討フロー

人口減少社会における持続可能なまちを目指し、恵庭市総合戦略で位置づけられた「生涯活躍のまち（恵庭版 CCRC の検討）」の実現に向けた可能性、課題を整理するため、右図のフローに従い調査・検討を行った。



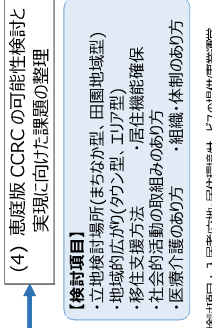
2. 恵庭市の CCRC 関連資源

- 高齢者人口が増加し、消費支出における高齢者の割合が増加**
 - 恵庭市の高齢者人口は、平成 57 年度が最大で、平成 27 年度から約 5,000 人の増加見込み、(3 割増)
 - 今後の恵庭市内世帯の消費支出は、全体では縮小するが、65～74 歳層で横ばい、75 歳以上層は増加する見込み。
 - 全体としては高齢者向けサービスの需要が増加するが、高齢者層の消費支出は他年代より額が小さく、貴重なサービスの転換が必要。**
- サ高住や医療機関の立地は、高齢者人口等との相関がみられるが、今後の需要は限定的**
 - 道内自治体のサ高住や医療機関の施設数は、誘致圏の高齢者人口と相関が見られ、市場性が見極められていると考えられる。
 - 将来の高齢者人口から、今後、サ高住は 1 件 58 戸程度、医療機関（一般病院）は 2 件 357 床程度が立地する可能性。
 - ただし、いずれは、高齢者人口も減少する時代が到来。
- 中長期的な高齢者人口の増減に対応するためのサービスのあり方の検討が重要。**
- 公共が提供するサービスの一部は利用率が低い**
 - 更なる市街地拡大は困難であり、また今後新たな市営住宅の整備も困難であることから、移住者等に向けた居住環境確保には空き家等の既存住宅の活用が必要。
 - 健康・介護機能（保健・福祉施設）や子育て・社会参加機能（市民文化・社会教育施設、スポーツ施設等）は、利用率の低い施設も多く、用途・機能の重複もあり、公共サービスの集約化による利用促進が必要。
 - 市内公共交通を健全な事業状況とするには、利用者が増える必要。
- 施設までの交通手段の確保と合わせた、既存ストックの活用と公共サービスの集約化が必要。**
- 就業環境は売り手市場であり、特に医療・福祉、製造業、卸売業・小売業の求人が多い。**
 - 約 7 割の事業所が人材不足しており、一般/パートタイムともに、年齢層に限らず、有効求人倍率が伸びている。医療・福祉が最多で、次いで、製造業、卸売業・小売業の求人が多い。
 - 移住問合せの中でも「職」の問合せが多い。
 - 市内専門学校・大学の卒業生は、6 割前後が医療・福祉サービスに就職する一方、市内には、新卒で採用できるだけのキャパシティがなく、市内就職率は 3.5% に留まる。
- 求人は女性が動きやすい職種が多く、女性の職の確保が移住促進に有効。**
- 市内専門学校・大学との連携による卒業生が結婚や出産などを契機に、戻ってこられるような取り組みが必要。**

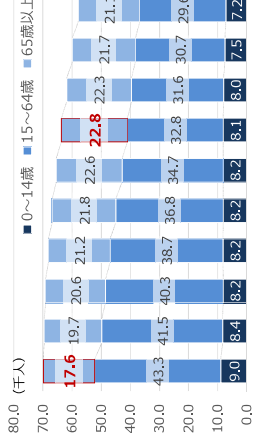
3. 国内 CCRC 先進事例の調査結果

整理した計 14 事例の取組内容の概況は右表のとおりである。

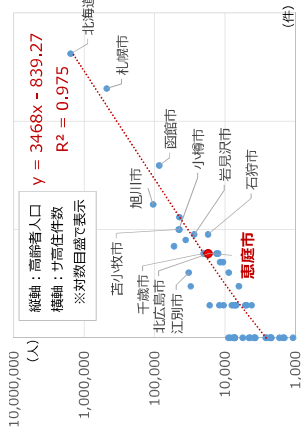
- 「サ高住の整備」「移住体験ツアー」「医療機関との連携」「コミュニティ拠点の整備」はどちらのタイプでも多く実施され、CCRC 実現に向けた主な取組みになっている。
- 「空き家活用」「不動産事業者との連携」は、タウン型特有の取組みである。
- 「医療施設の整備」は、エリア型で多く行われており、タウン型では既存施設の活用が主眼に置かれている。



図表 1 検討フロー



図表 2 恵庭市の将来推計人口と高齢者の占める人口



図表 3 北海道のサ高住の立地状況と高齢者人口の関係

図表 4 国内 CCRC 先進事例における取組み

環境整備の視点	地域的広がり		型	計
	サ高住の整備	郊外住宅の整備		
居住機能確保	6	4	型	10
確保	2	1	型	3
空き家活用	1	4	型	5
不動産事業者との連携	0	2	型	2
移住支援	2	4	型	6
移住体験ツアー	5	5	型	10
医療介護の強化	6	4	型	10
医療施設の整備	5	1	型	6
コミュニティ拠点整備	4	4	型	8
社会的活動	5	2	型	7
取組み	3	1	型	4
調査事例数	8	6		14

4. 「まちづくりツアー」の調査結果

「まちづくりツアー」参加者へのアンケート結果から、移住・生活する上で重要なものとして、右のようなニーズが確認できた。

図表 5 アンケート集計結果【生活・移住において重要だと感じるもの】

No.1 医療・介護・健康づくり等のサポートの下高齢者が安心して暮らせること (約 40%)
No.2 仕事・ボランティア・生涯学習など、世代を問わず、様々な社会参加の機会があること (約 30%)
No.3 地域住民との交流機会があること (約 20%)
その他 地域内交通機関、お店、治安の良さ等も重要とする回答も多い
● 整った住宅・公共空間整備や、まちづくりや歴史に魅力を感じている回答も多い

5. 恵庭版 CCRC の可能性検討と実現に向けた課題の整理

上記の結果から、恵庭市 CCRC の可能性について検討した。調査内容から、恵庭版 CCRC の推進に向けて、以下の方針が見出された。

CCRC の検討項目	恵庭版 CCRC の可能性検討	実現に向けた課題の整理
(1) 立地検討場所 x 地域的広がり	<ul style="list-style-type: none"> 長期的には、サ高住や医療機関等の開発を伴う、エリア型 CCRC は高齢者減少後の持続可能性に課題がある可能性がある。 長期的な視点で、まちなか居住を推進する形が望ましく、恵庭市のコンパクトシティに向けた他施策とも整合が図られる。 今後既存取組みとの連携の継続が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 他自治体との差別化や窓口サービスの向上をいかに図れるかが重要。
(2) 移住支援方法	<ul style="list-style-type: none"> サ高住等は、高齢社会の進展により、一時的に施設が不足する可能性があるが、長期的には、供給過多になる可能性が高い。 今後、人口減少により、まちは縮小していくため、現状のまちなかの範囲の中のストックの活用が重要である。そのため、移住に対する住宅確保施策として、「空き家活用」は重要で、不動産事業者との連携が考えられる。 「不動産事業者」の連携が考えられている状況からコミュニティ拠点等の市民向けサービスを提供する施設として活用できる可能性が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> サ高住等への移住者が、いかにまちなかに出てこれられるようになるかが課題である。 市内高等教育機関と連携し、いきがいV学び/スポーツ等の提供が必要である。 人口減少やサ高住等への移住者により、コミュニティのあり方の変化が想定されるため、公共サービスや公共施設の再編により、移住者や高齢者がまちなかに出ていきやすい仕組みの構築の必要性が高い。 移住者を在住の高齢者や既存の取組みとマッチングすることが求められると考えられる。 女性活躍の観点での取組みや、市内専門学校・大学との連携による卒業生が、結婚や出産などを契機に、戻ってきてもらえるような取組みや、短/中/長期での高度な判断が必要。 高齢者の消費拡大と健康長寿の取組みが必要。 移住促進に向けた PR 等の支援の継続が必要。
(3) 居住機能確保	<ul style="list-style-type: none"> 市内の求人は多く、即戦力を求める分野との連携により、移住者の社会的活動の可能性があると考えられる。 健康づくりや、農業との関わり等の分野の取組みは、恵庭市の強みを活かせると考えられると共に、官学が一体となり、公開講座等の連携を図り、地域の方々に学習の機会を提供し、活用してもらおう等、様々な世代に対する教育・育成環境づくりを行うことに可能性があると考えられる。 市内内各教育機関卒業生が、結婚や出産などを契機に恵庭市に戻ってきた時の就職先としての可能性が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> サ高住等への移住者が、いかにまちなかに出てこれられるようになるかが課題である。 市内高等教育機関と連携し、いきがいV学び/スポーツ等の提供が必要である。 人口減少やサ高住等への移住者により、コミュニティのあり方の変化が想定されるため、公共サービスや公共施設の再編により、移住者や高齢者がまちなかに出ていきやすい仕組みの構築の必要性が高い。 移住者を在住の高齢者や既存の取組みとマッチングすることが求められると考えられる。 女性活躍の観点での取組みや、市内専門学校・大学との連携による卒業生が、結婚や出産などを契機に、戻ってきてもらえるような取組みや、短/中/長期での高度な判断が必要。 高齢者の消費拡大と健康長寿の取組みが必要。 移住促進に向けた PR 等の支援の継続が必要。
(4) 社会的活動の 取組み	<ul style="list-style-type: none"> IT 技術を使ったサービス提供（相談窓口など）、地域包括ケアシステム、宅配・見守りサービスなどの福祉サービスは、各機関連携により提供できる可能性は高い。 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢社会の進展により、一時的に施設が不足する可能性があるが、いずれは高齢者も減少する時代が来るため、施設の誘致には、市として、短/中/長期での高度な判断が必要。 高齢者の消費拡大と健康長寿の取組みが必要。 移住促進に向けた PR 等の支援の継続が必要。
(5) 医療介護	<ul style="list-style-type: none"> サ高住等の施設整備を伴う場合には、関連サービスを展開する事業者がすでにある状況であるため、官民連携の可能性も想定される。 施設整備を伴わない場合には、居住機能確保の仕組みの中で行う、空き家対策等、不動産事業者との連携は考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢社会の進展により、一時的に施設が不足する可能性があるが、いずれは高齢者も減少する時代が来るため、施設の誘致には、市として、短/中/長期での高度な判断が必要。 高齢者の消費拡大と健康長寿の取組みが必要。 移住促進に向けた PR 等の支援の継続が必要。
(6) 組織・体制	<ul style="list-style-type: none"> サ高住等の施設整備を伴う場合には、関連サービスを展開する事業者がすでにある状況であるため、官民連携の可能性も想定される。 施設整備を伴わない場合には、居住機能確保の仕組みの中で行う、空き家対策等、不動産事業者との連携は考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢社会の進展により、一時的に施設が不足する可能性があるが、いずれは高齢者も減少する時代が来るため、施設の誘致には、市として、短/中/長期での高度な判断が必要。 高齢者の消費拡大と健康長寿の取組みが必要。 移住促進に向けた PR 等の支援の継続が必要。

恵庭市における CCRC 実現に向けた可能性調査委託業務（概要報告書）

CCRC の検討項目	恵庭版 CCRC の可能性検討（再掲）	実現に向けた課題の整理（再掲）	恵庭版 CCRC 推進への方針（案）	現行施策		新たに検討が必要な施策	
				総合計画	総合戦略		
(1) 立地検討場所 × 地域的広がり	<p>→ 長期的には、サ高住や医療機関等の開発を伴う、エリア型 CCRC は高齢者減少後の持続可能性に課題がある可能性がある。</p> <p>→ 長期的な観点で、まちなか居住を推進する形が望ましく、恵庭市のコンパクトシティに向けた他施策とも整合が図れると考えられる。</p>	—	<ul style="list-style-type: none"> ● 恵庭地区/恵み野地区/島松地区のサービス集積（エリア）によるコンパクトシティ施策とそれらの相互ネットワークによる「まちなか/タウン型」のまちづくり施策の継続 	<ul style="list-style-type: none"> ● 公共施設の複合化による機能面の充実 ● 駅周辺のまちづくり - 地域の特色を活かしたエリアマネジメントの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ● 駅周辺の賑わいづくり 		
(2) 移住支援方法	<p>→ 今後とも既存取組みとの連携の継続が必要。</p>	<p>✓ 他自治体との差別化や窓口サービスの向上をいかに図れるかが重要。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 移住窓口や移住体験ツアーなど、既存の取組みの継続 ● 他自治体との差別化や窓口サービスの向上 	<ul style="list-style-type: none"> ● 移住・定住の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ● 移住定住促進 		
(3) 居住機能確保	<p>→ サ高住等は、高齢社会の進展により、一時的に施設が不足する可能性があるが、長期的には、供給過多になる可能性が高い。</p> <p>→ 今後、人口減少により、まちは縮小していくため、現状のまちの範囲の中でのストックの活用が重要である。そのため、移住に対する住宅確保施策として、「空き家活用」は重要で、「不動産事業者との連携」が考えられる。</p> <p>→ 公共施設が居住人口に応じて配置されている状況から、コミュニティ拠点等の市民向けサービスを提供する施設として活用できる可能性が高い。</p> <p>→ 市内の求人（多くは職力を求める分野）との連携により、移住者の社会的活動の場づくりの可能性があると考えられる。</p> <p>→ ほか、健康づくりや、農業との関わり等との分野の取組みは、恵庭市の強みを生かせることと考えられ、官学が一体となり、公開講座等の連携を図って、地域の方々に学習の機会を提供し、活用して環境づくりを行うことに可能性があると考えられる。</p> <p>→ 受入側の各種サービスは、女性の就職先や、市内高齢者教育機関卒業生が、結婚や出産などを契機に恵庭市に戻ってきた時の就職先としての可能性が高い。</p>	<p>✓ 高住等への移住者が、いかにまちなかに出てこれるようにするか課題である。</p> <p>✓ 市内高等教育機関と連携し、いきがい/学び/スポーツ等の提供が必要である。</p> <p>✓ 人口減少やサ高住等への移住者により、コミュニティのあり方の変化が想定されるため、移住者や高齢者がまちなかに出ていきやすい仕組みの構築の必要性が高い。</p> <p>✓ 移住者を在任の高齢者や既存の取組みとマッチングすることが求められると考えられる。</p> <p>✓ 女性活躍の視点での取組みや、市内専門学校・大学との連携による卒業生が、結婚や出産などを契機に、戻ってきてもらえるような取り組みなどができれば、CCRC と関連した雇用の創出はある程度実現可能と考えられる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 潜在的な空き家（戸建・空きマンション）の把握 ● 不動産事業者との連携方策の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ● 民間住宅施策の取組み強化（高齢者向け住宅・子育て住宅・リフォーム・住宅流通支援など） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 住宅政策の推進 ● 移住定住促進 		
(4) 社会的活動の取組み	<p>→ IT 技術を使ったサービス提供（相談窓口など）、地域包括ケアシステム、宅配・見守りサービスなどの福祉サービスは、各機関連携により提供できる可能性は高い。</p>	<p>✓ 高齢社会の進展により、一時的に施設が不足する可能性があるが、いずれは高齢者も減少する時代が来るため、施設の誘致には、市として、短/中/長期での高度な判断が必要。</p> <p>✓ 高齢者の消費拡大と健康長寿の取組みが必要。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 施設の整備や誘致に対する市としての短/中/長期での判断 ● 各機関連携によるソフト面での対応の拡充 ● 高齢者の消費拡大と健康長寿の両立に向けた健康ポイント制度の拡充 ● 産官学連携による健康長寿に向けた取組みの推進と、医療費削減等の効果の検証 	<ul style="list-style-type: none"> ● 健康づくり計画・食育推進計画の推進及び啓発 ● 予防接種・健康診査・がん検診の推進 ● 夜間・休日診療体制の維持 ● 地域包括ケアシステムの構築 	<ul style="list-style-type: none"> ● 広域化による機能維持・増進 ● 健康・長寿の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ● 多世代交流の推進 ● 公共施設マネジメント ● 駅周辺の賑わいづくり ● 就労促進 ● 高等教育機関等と連携した若者定着と知の拠点づくり ● 少子化対策推進事業 	
(5) 医療介護		<p>✓ 移住促進に向けた PR 等の支援の継続が必要。</p> <p>✓ 今後、高齢社会の進展により、消費支出の縮小が必ずあり、今後の社会動向に合わせた、高齢者向けサービスの強化などが必要。</p> <p>✓ 上記を踏まえつつ、CCRC に対する捉え方については、各自治体で類似している部分も多く、他自治体との差別化をいかに図れるかが重要。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 市内高等教育機関と連携し、いきがい/学び/スポーツ等の提供 ● 各種サービスの担い手確保に向けた、女性活躍の視点での取組み ● 市内専門学校・大学との連携 ● 社会的活動の場のひとつとして、関連公共施設の利用促進に向けた、公共交通と公共施設の再編 	<ul style="list-style-type: none"> ● まちなか/コミュニティ活動・多世代交流の推進 ● 男女がともに安心して暮らせるまちづくりの推進 ● 生涯を通じてスポーツに関わり心身ともに健康になれる環境 ● 多様な人材を活かせる労働環境の整備 ● 公共施設の活用と市民の活力を生かした文化芸術活動の推進 ● 生涯を通じて文化芸術活動を行える環境づくり ● 身近な市民の足の確保（新公共交通システムの構築） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 健康づくり計画・食育推進計画の推進及び啓発 ● 予防接種・健康診査・がん検診の推進 ● 夜間・休日診療体制の維持 ● 地域包括ケアシステムの構築 	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者の消費拡大に向けた健康ポイント制度の拡充や、医療費削減の効果検証 	
(6) 組織・体制	<p>→ サ高住等の施設整備を伴う場合には、関連サービスを展開する事業者がすでにある状況であるため、官民連携の可能性も想定される。</p> <p>→ 施設整備を伴わない場合においては、居住機能確保の仕組みの中で行う、空き家対策等、不動産事業者との連携は考えられる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 施設整備の有無に応じた、官民連携の促進 ● 移住促進に向けた行政支援の推進 ● 高齢社会の進展による消費支出の縮小に対応した、高齢者向けの就業情報の提供やサービス拡充への転換の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ● 商店街の担い手育成や新規開業・創業者への支援 ● 市民をまきこんだにきわいづくりの推進 ● 移住・定住の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ● PFI・PPP の推進 ● 移住定住促進 ● 中小企業支援事業・起業家支援 	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢社会の進展による消費支出の縮小に対応した、高齢者向けの就業情報の提供やサービス拡充への転換の促進 		

まちづくり拠点整備事業について

I (仮)緑と語らいの広場複合施設整備事業の概要について

1. 施設の概要

【施設規模】

- [構造] 鉄骨造 地上2階
- [延床面積] 約3,800㎡
- [駐車場] 約110台

【導入機能】

- [民間部分] 約1,400㎡
 - ・健康増進機能(フィットネスクラブ・スポーツクラブ):宮の森スポーツ倶楽部
 - ・生活利便機能(イトイン付コンビニエンスストア):セイコーマート
 - ・地域情報発信機能:FM e-niwa

[公共部分] 約2,400㎡

- ・市民活動センター、保健センター、図書分館、学童クラブ、児童館、子育て支援、憩の家、夜間診療所

【土地の貸付】

- [事業用定期借地権期間] 30年

【工事着手及びオープン予定時期】

- ・工事着手時期:平成29年(2017年)8月予定
- ・供用開始時期:平成30年(2018年)4月予定

【年間想定来場者数】

- 施設全体:約40万人程度
(公共部分:約10万人程度、民間部分:約30万人程度)

【公共部分提案賃料】

- 年間 約60,000千円(7,000円/月・坪)

【外観イメージ図】



【事業コンセプト・基本方針】

3rd place=そこからの場所

— 「エキマエ」に波及する施設づくり —

3rd place とは、職場や学校でもなく家でもない「もうひとつの居場所」を意味します。どこからも拘束されない時間を豊かに健やかに過ごすことは、恵庭市がこれまで取り組まれてきた子どもを中心とした施設づくりの基本理念と考えております。私たちは「緑と語らいの広場」を多世代が集まる **3rd place** にしたいと考えます。



STEP 1 3rd place

まずは人を集める

公共ゾーンの主たる機能として、**健康・交流・図書部門**が計画されています。私たちはこれらの機能と融合し相乗効果を起こすような民間機能の在り方を考えます。

【健康部門】市民の健康をサポートする機能 **健康増進機能** >>> フィットネス

【交流部門】長時間滞在をサポートする機能 **生活利便機能** >>> コンビニカフェ

【図書部門】読書の空間をサポートする機能 **知育創造機能** >>> 温室図書館

公共事業の集約化と民間事業が連携することで、幅の広いプログラム展開、多世代交流が生まれます。これらのコンテンツへ展開する場として従来の図書機能から発展した「**温室図書館**」を施設の中心につくります。そこから各プログラムへ展開しやすいゾーニング計画を行います。



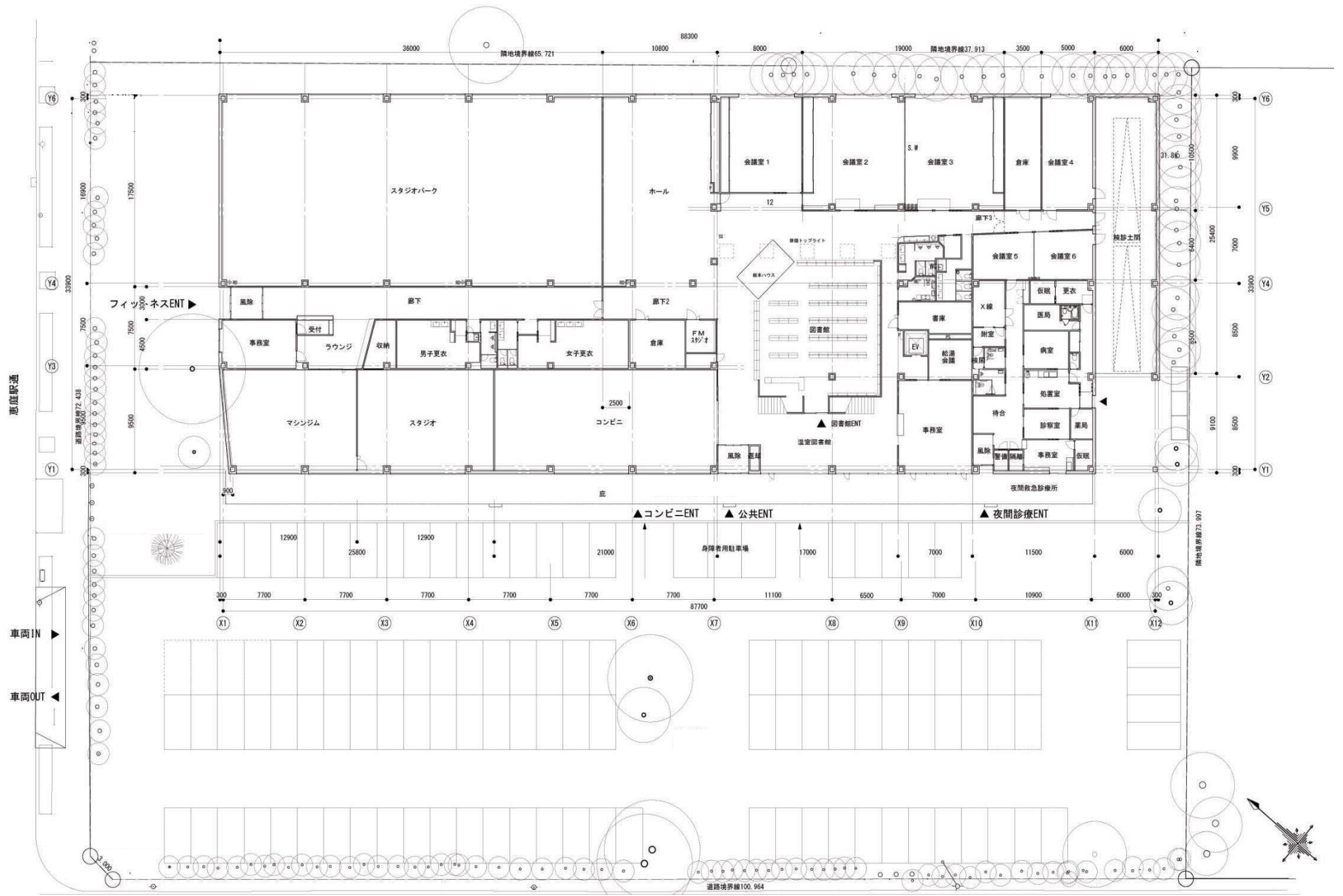
STEP 2 「そこからの場所」

エキマエへの人の流れをつくる

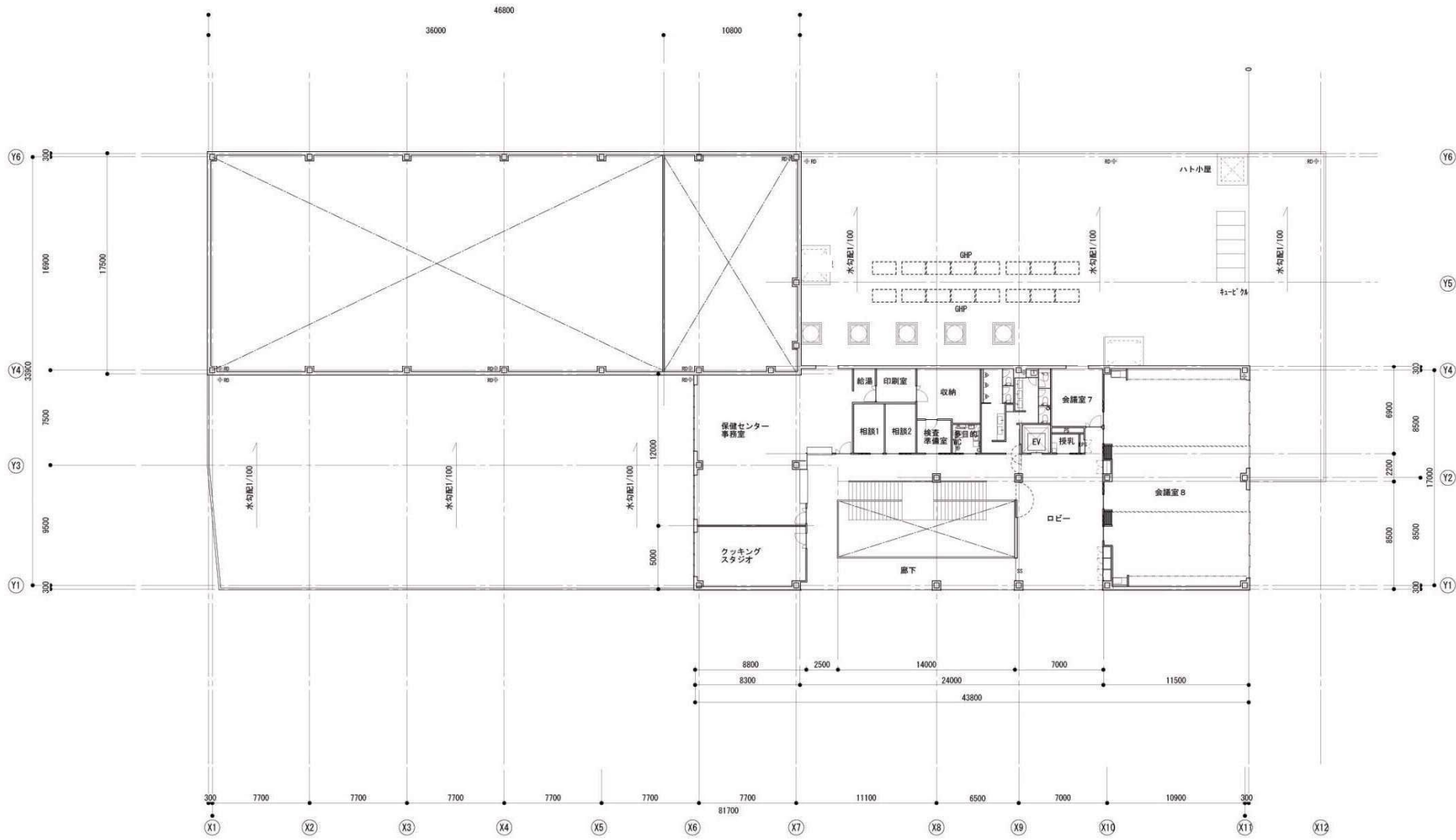
「温室図書館」は5つのコンテンツ「Kids・健康増進・学び・生活利便・地域」を核に、多様な**興味・交流・アクティビティ**に出会える「そこからの場所」を創出します。3rd place が「そこからの場所」となり、多世代交流・賑わいが生まれ、駅前通りの人の流れ、**周辺地域への波及へとつながる相乗効果**を生み出します。

【内観イメージ図】





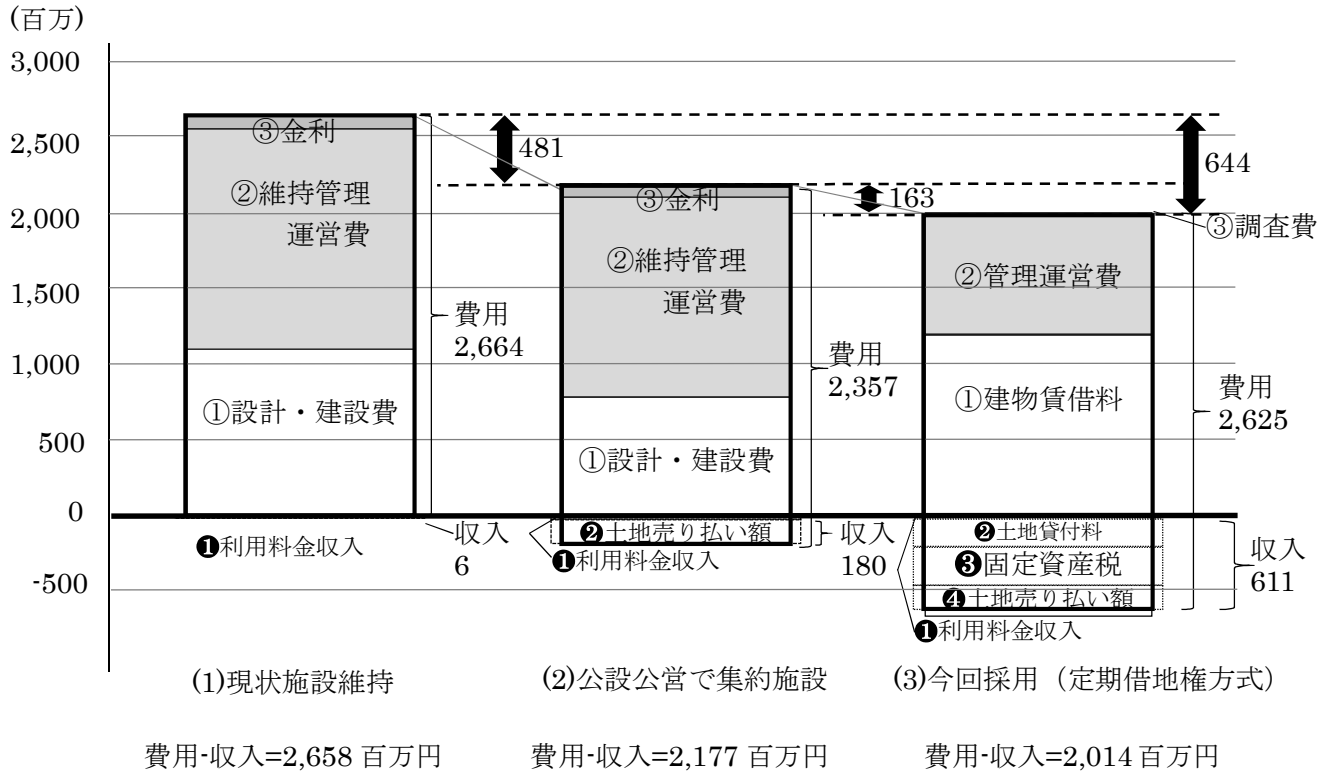
【1F 平面図】



【2F 平面図】

2. 費用試算の比較

◆費用試算の比較



【軽減されるリスク】

- ・ 資金調達リスク
- ・ 不可抗力・法令変更によるリスク (建物に関するもの)
- ・ 維持管理費リスク (市の責めに帰すべき事由を除く)
- ・ 大規模修繕リスク
- ・ 駐車場・駐輪場運営リスク
- ・ 第三者賠償リスク (建物に関するもの)
- ・ 建物解体リスク など

3. スケジュール（予定）

	12月	H29年1月～6月	7月～12月	H30年1月～3月	4月～
審査会（ヒアリング・審査・選考） ＜最優秀提案者の決定＞	◎12月8日				
覚書の締結	◎12月21日				
基本・実施設計		→			
基本協定締結			◎7月中旬		
工事（8月～2月）			→		
引越し				→	
供用開始					→

Ⅱ（仮）恵み野スマートタウン構想 の検討について

1. 住宅地整備事業の概要（予定）

- ・事業名称 : 松園地区住宅地整備事業
- ・開発事業者 : 恵庭まちづくり協同組合
- ・開発規模 : 約3ha
- ・想定宅地数／宅地規模 : 50～60宅地程度／戸当300㎡以上を想定
- ・開発手法 : 民間事業者による開発行為（都市計画法 29 条）
- ・用途地域 : 第一種低層住居専用地域

2. （仮）恵み野スマートタウン構想の検討について

- ・花の拠点と一体となった豊かな住宅地の実現、移住定住施策と連携した住宅地販売戦略として、恵庭市、開発事業者等が連携し（仮）恵み野スマートタウン構想を検討中。（別紙参照）
- ・「環境」「景観」「多世代同居・コミュニティ」に配慮した次世代型住宅地として、各実施項目を検討。特に「環境」項目は、省エネルギー住宅基準や設備要件の設定、最低要件の義務化等、団地としての一体的整備を目指す。
- ・今後は行政との連携・支援方策についても調査検討を行う。（環境型住宅団地としての認定・推奨、補助制度等支援、移住、住み替え支援等）

3. 今後の予定

- ・平成29年1月～：市街化区域編入協議（北海道等）
- ・平成30年3月 : 市街化区域編入（北海道決定）
用途地域・地区計画・下水道 都市計画決定（恵庭市決定）
- ・平成30年春頃～：開発行為申請・許可、
- ・ 秋頃～：宅地造成工事完了（予定）、住宅建築着手

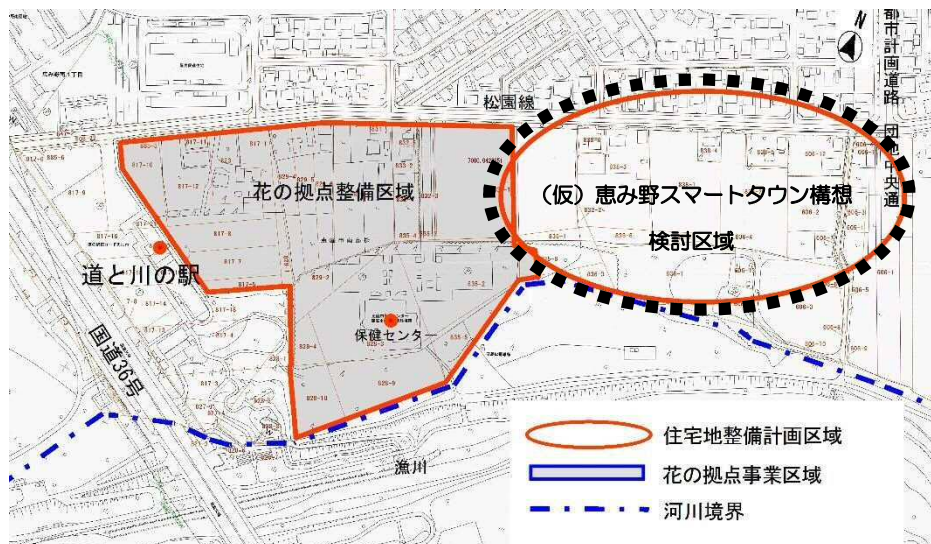
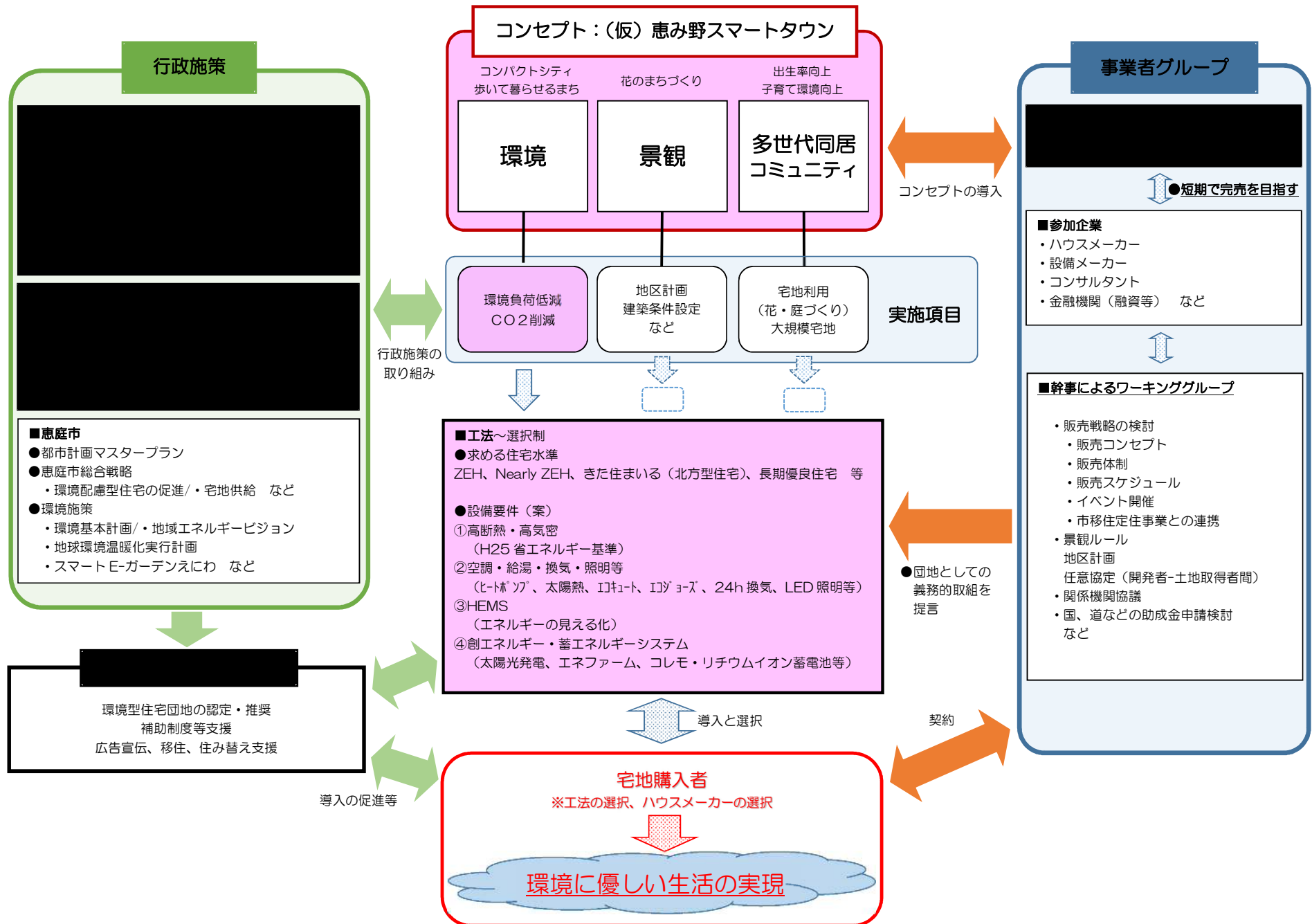


図 （仮）恵み野スマートタウン構想 検討区域

(仮) 恵み野スマートタウン構想 (案)

平成29年6月20日
恵庭市企画振興部まちづくり推進課



Ⅲ (仮) 恵庭かわまちづくりについて

○事業に至った経緯について

本事業は、恵庭市の花の拠点整備事業や隣接する住宅地整備事業と河川整備事業と連携し、親水護岸や散策路などのハード整備やソフト整備を行うことで、漁川の親しみやすさや利便性の向上、景観形成の向上を図ることを目的として、河川管理者である国と恵庭市が共同で計画を作成し、一体整備を行うものです。

～良好なまち空間と水辺空間の形成～

観光などの活性化に繋がる景観・歴史・文化等の河川が有する地域の魅力という「資源」や地域の創意としての「知恵」を活かし、地方公共団体や地元住民との連携の下で立案された、実現性の高い河川や水辺の整備・利活用計画による、良好なまちと水辺が融合した空間形成の円滑な推進を図ります。

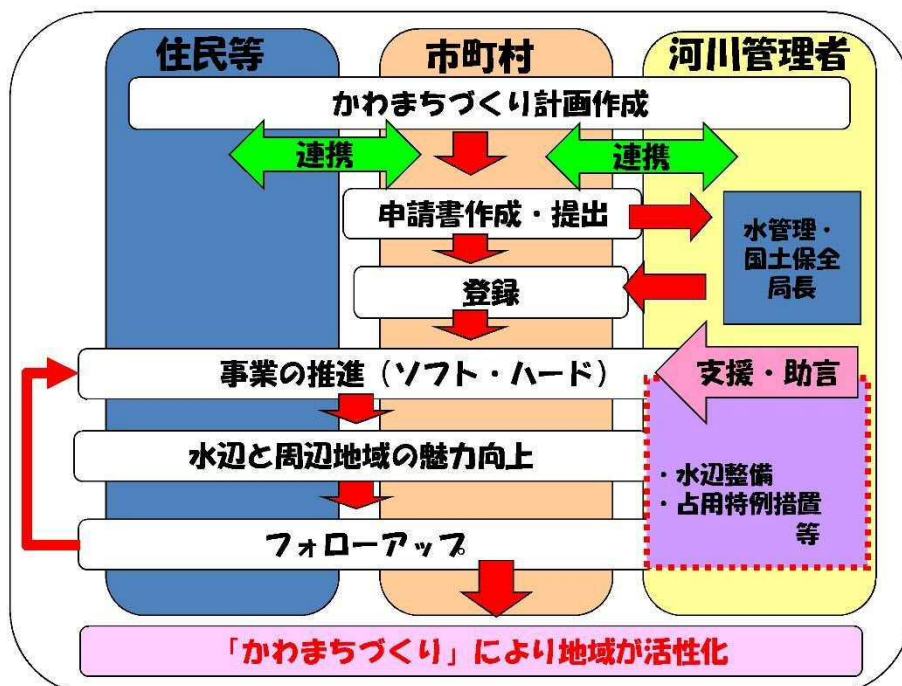
○事業概要

ソフト支援：民間事業者による河川敷のイベント広場やオープンカフェ等への利用制度（都市及び地域の再生等のために利用する施設に係る占用の特例）等を活用、河川管理者として「地域づくりのためのフォローアップ」を積極的に支援。

ハード支援：治水上及び河川利用上の安全・安心に係る河川管理施設の整備を通じ、まちづくりと一体となった水辺整備を支援。



管理用道路をフットパスとして活用（最上川）



図：かわまちづくりの流れ

「恵庭かわまちづくり」の進め方（案）

「恵庭かわまちづくり」構想検討（H29春から）

- ・道と川の駅周辺構想（恵庭市）と連携した整備イメージの検討（国）

基本方針、整備メニューの検討

「恵庭かわまちづくり」構想確認（H29秋まで）

- ・水辺とまちづくりに関する基本方針（恵庭市）、整備メニューの確認（国）

「恵庭かわまちづくり」計画書（案）の作成

「恵庭かわまちづくり」検討会（H29年度末まで）

- ・「恵庭かわまちづくり」計画書作成（恵庭市、国）

申請様式等の作成

「恵庭かわまちづくり」計画書等の申請（予定：H29年度末）

かわまちづくり支援制度への登録（予定：H29年度末）

かわまちづくり予算要求（H31年度予算の確保）

● かわまちづくり事例（北海道）

※国土交通省ホームページ・千歳川河川事務所提供資料参照

	名称	河川	市町村	キーワード
1	旭川市街地区かわまちづくり	石狩川	旭川市	・オープンカフェ ・文化芸術資源の連携
2	平取町かわまちづくり	沙流川	平取町	・アイヌ文化継承 ・フットパス
3	天神地区外かわまちづくり	勝納川	小樽市	・フットパス ・生活と観光
4	浦幌町市街地地区かわまちづくり	旧オベトン川	浦幌町	・整備された散策路 ・森林公園
5	大沼公園広場地区かわまちづくり	大沼	七飯町	・大沼観光 ・自然と食
6	北見市東部地区かわまちづくり	小石川	北見市	・親水公園 ・地域の憩いの場
7	弟子屈地区かわまちづくり	釧路川	弟子屈町	・観光推進 ・水辺空間の利用
8	雄武町市街地区かわまちづくり	オコツナイ川 ボンオコツナイ川	雄武町	・散策路 ・観光活性化
9	美瑛川地区かわまちづくり	美瑛川	美瑛町	・サイクルツーリズム ・雄大な自然景観
10	天塩かわまちづくり	天塩川	天塩町	・フットパス ・野鳥観察 ・観光活性化
11	網走かわまちづくり	網走川	網走市	・観光活性化 ・サイクリング、散策
12	名寄川地区かわまちづくり	名寄川	名寄市 下川町	・観光拠点周遊 ・サイクリング、散策

事業位置

至 札幌



至 千歳

●全国のかわまちづくりの事例



親水護岸

(熊本県八代市 球磨川)



散策路

(長崎県諫早市 本明川)



茶店

(大阪府箕面市 箕面川)



飛び石

(山形県長井市 最上川)



カフェ

(広島県広島市 京橋川)



水上ステージ

(徳島県徳島市 新町川)